



安全対策について



自然の中での活動には、転倒や熱中症などのほか、人に危害を及ぼすおそれのある生物など、さまざまな危険がひそんでいます。しかし、むやみに恐れるのではなくそれらの危険を正しく知り、対処の仕方を身につけることがより大切です
 自然体験活動は、危険を回避し、身を守ることを学ぶ安全教育でもあるのです

野外における主な危険要因と対策

注意：危険な生物の情報はセンターでお確かめ下さい

	危険要因	季節	簡単な対策
植物・キノコ	ウルシ、ヌルデ	いつでも	触らない、接近しない。葉の形を覚えておく
	トゲのあるもの	いつでも	長袖・長ズボン・軍手を着用。藪に注意
	ササ、ススキ	いつでも	長袖・長ズボン・軍手を着用。藪に注意 葉の縁で手足を切ることがある
	毒草・毒キノコ	いつでも	分からないものは食べない。専門家に聞く カエンタケはさわらない(さわったら水で洗う。さわった指をなめただけでも中毒する)
昆虫	ハチ	初夏～晩秋	黒い服を着ない、巣に近づかない、いじめたり、手ではいたりせず静かに逃げる。 芳香性の調髪剤や化粧品、フルーツジュースなどもハチを誘引するので要注意。 特に秋のスズメバチは攻撃性が強く危険
	ヤブ蚊、アブ	初夏～晩秋	長袖・長ズボン・軍手を着用。 虫除けスプレー・携帯型蚊取り線香を使う
	毛虫 (ドクガ・イラガなど)	早春～晩秋	長袖・長ズボン・軍手を着用。藪に注意
	ドクガ(成虫)	春～秋	長袖・長ズボン・軍手を着用。触らない (触ると激しいかゆみ、炎症が起こる)
動物	クマ (特に子連れ)	早春～晩秋	一人で森に入らない、鈴をつける、 指導員が同行する
	マムシ ヤマカガシ	春～秋	長靴、トレッキングシューズなどを履く。 足元に注意しながら歩き、むやみに藪に 手を入れない(枝の上や、日当たりの良い 石の上で日向ぼっこをしていることがある)
	カラス、トビ	いつでも	エサをやらない、食べ物はリュック・ バッグに入れておく
その他	熱中症	夏	こまめに飲み物を飲む。涼しい風通しのよい ところで休む
	落石、滑落 土砂崩れ 枯れ木	いつでも	遊歩道から外れない。大雨の後は注意。 石を転がしてしまったときは「落石！」 と大声で叫ぶ 枯れ木に近寄らない、さわらない



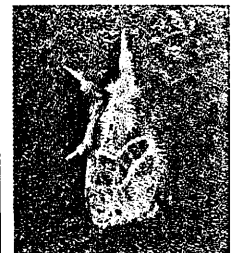
ヤマウルシ



オオスズメバチ



カエンタケ



ドクガ